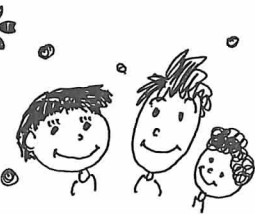


よりそう

(5/7(土)の宿泊:233人,活動:27人)



まごころネットの黄金週間

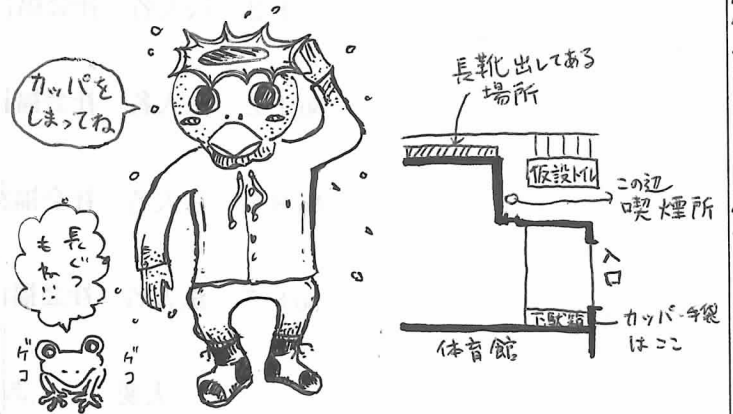
～8日間の全記録～

私が遠野にやって来たのは7日前。(それはそれは昔の思い出のようだ。)まごころネットに到着したのは30日午前。GW組の最初のほうと言える。夕方、続々と訪れるボランティアで玄関はカオスに。私たちは着いたばかりで何も分からないのに急遽受け付けに入った。新入りが新入りを案内するという意味不明な状態だったが、一緒にその業務にあたる光中さんとは最終日まで続く仲だ。思えば「何人もの、さきまで顔も知らなかった人たちと、腐った魚も回収し、校庭の土も掘り返した。そして「お疲れ様」と声をかければ、自然と友達のように語り合うことが出来た。

大阪から来た空手家、沖縄出身の整体師、静岡生まれなのに青森おぶた祭りに命をかけるプログラマー、茨木の歯科医に霞ヶ関で働く官僚etc.性別も年齢もあらゆるプロフィールを飛び越えて集まったボランティアは、ピーク時で約600人に達した。その鳥合の衆をまとめ上げ、GW前半に抜群のリーダーシップを執った菅原氏の存在を、忘れることは出来ない。ある目的のために博多から北海道に物住したという彼は、焼酎を飲みながら「何でこんな良い人たちが住む場所にこんなことが起こるんじゃないか。」と涙を流す情に厚い親父。そんな彼の元で、私たち20～30代の若いメンバーもどんどん発言し夜出たアイデアを翌朝実行した。そのスピード感たるや、今の政府と交替すればいいのと思うほどであった。「素人が行っても、受け入れ体制の負担になるからやめた方がいい。」という都市伝説がある。人まかせな発想だ。「受け入れ体制」なんてものは元々無い。無いから自分たちで作ったのが今のまごころネットだ。私たちはどの程度の被災者になるかは選べないが、どの程度の支援者になるかは自分で選べる。やるかやらないか、やる方がいいに決まっている。そんな風に一歩だけ勇気を出して集まったみんな。この「遠野方式」が、今後の災害ボランティアのスタンダードを形になりますように。そして一日も早く、東北に元通りの生活を。(文、羊田)

長靴・カッパ・手袋 撤去

喫煙所の脇(地図参照)に長靴を出しています。自分の物は入口の中(段ボールが敷いてあるエリア)に移して下さい。また、干してあったカッパ・手袋は体育館側入口の下駄箱にあります。これらも自分の物は持って行って下さい。どちらも移動しないものは5月9日に破棄しますので、ご注意を!!



ボランティアの休日

～自転車遠野巡回編～

4月30日から真心ネットに参加し、あつという周りに帰る日が来てしまいました。午前中はお世話になったセンターのお掃除をして、ポカリ時間が空いた午後は真心ネットの自転車を借りて遠野巡回に出かけました。五百羅漢で苔蒸した石仏に感動し、河童淵でカッパ釣り(?)を愉しみ、水光園の温泉で靴を洗い、心洗われる一時でした。

長く続く東北の復興への道程を支える為にもボランティアのみなさんもたまには休息を!

利用頻度を考えて...

玄関周りには色んな寄付品が沢山ありました。これは新たに活動に加わった方々に利用して頂こうと陳列してきました。しかし、GWを過ぎ利用する可能性の低いものは体育館の舞台上へ移しました。そこで、玄関にあるEJで不足を感じた時は気付いた方で補充して下さいようお願いいたします。

5/7(土)のボランティアミーティングは、p.m. 5:30 @ 体育館

5/7(土)の天気：晴れ時々雨 10.1.23℃ 降水確率 50%

今日の編集担当：羊田・水野・西浦(イラスト)・鈴木・守齋